

分野：⑬SDGs

(世界の仲間とつながろう)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 川口市立南鳩ヶ谷小学校6年 (94人)
場所 教室所要時間
実施時期

3時間

令和3年3月8日

概要

SDGsについて
ボルネオと日本との関係（森林伐採・パームヤシ油など）

プログラムの ねらい

SDGsの狙い
世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。
そして、できる活動を考えて、行動する。

プログラムの内容

1. 導入

SDGsのことについて、大まかに知る。
ラオスの子どもの話（貧困・飢餓・教育など）

2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象
パームヤシ畑・私たちとの関係 木を輸入（オリンピック関連・
コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が
入っていること。植物油としか書かれていない。
私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



受講者の反応

オランウータンに興味を持った子がいて、寿命や社会性についての質問があった。
パーム油に、自分の生活が沢山つながりのあることに驚いた感想だった。